



Association of Yokohama Studies
向島学会

防災とアートをつなげるまちづくりのプラットフォーム



特定非営利活動法人 **向島学会**
(東京都墨田区向島地域)

2021年7月 交流サロン

向島学会とは

向島学会の設立の経緯と目的

背景

- ・老朽木造住宅が密集し、防災上危険な地域
- ・高齢化と空き家の増加が進み、活力が低下

1998～2001年

経緯

- ・建築系学生の国際デザインワークショップ
- ・空き地・空き家を活用した地域芸術祭の開催

まちづくり協議会等の
実行委員有志が集まり

向島博覧会を契機に
アーティストが移住

目的

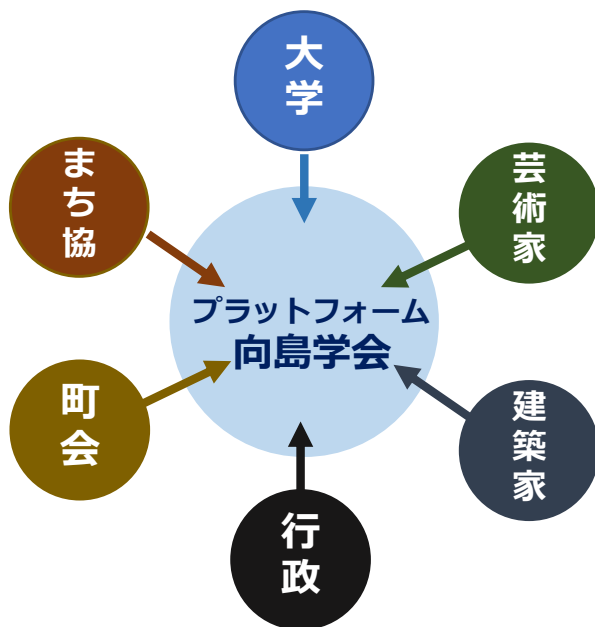
学術を通して地域の課題を掘り下げ、**芸術を通して地域の価値を見直し**、**それらの成果を地域に還元**するため、2002年に「向島学会」を設立した。

2006年NPO法人化



向島地域とは

隅田川等による江東デルタ地帯の墨田区北部地域。密集市街地の改善や防災まちづくりで有名な京島や一寺言問地区がある。



有志が集うまちづくりプラットフォーム

4つの部会活動 + 向島スタディーズ & 向島デザイナーズ

アーカイブ部会

まち歩き等のWSを重ねて
向島の歴史の掘り起こし

アート部会

アートプロジェクトの開催
を支えるプラットフォーム

まちづくり部会

改修や建て替えの相談対応
まち協の枠組を越えた連携

交流部会

「交流サロン」の開催、
ドイツ等との街づくり交流



専門分野の異なる学生の向島に関する研究成果の発表・交流、建築系学生の設計提案の講評

1

まちを歩き、未知（道）と遭遇した成果のアーカイブ化と地域還元

鐘ヶ淵・寺島町・吾嬬町の古地図や歴史資料を収集して解読するだけでなく、まち歩きなどのワークショップを重ねて、その成果を印刷物などのアーカイブ化して向島のまちづくりに還元している。



「寺島」は、昭和40年頃まで、私たちのまちの「名前」でした。このまちには、どのような仕事があり、どのような人が生活し、どのような歴史があったのでしょうか。このイベントは、旧寺島町内のまちを歩き、様々な場所の移り変わりや出来事を皆さんと一緒に掘り起こします。

例えば、神社の礎石の礎、お墓の礎、舞子池の礎、海浜の礎、種彦への礎、歴史に埋もれた不思議な経路の礎を歩き、尋ねて生かされた。寺島に引越してきた方、一緒にまちの歴史を掘り起こしませんか。

- まち歩き
- 中部地域 <10月12日(土)> 午後2時30分 法泉寺集合
 - 南部地域 <10月26日(土)> 午後2時30分 ｲｰｺｰｶｰ一般交差点集合
 - 北部地域 <11月9日(土)> 午後2時30分 東向島(旧玉の井)駅集合
 - 東部地域 <11月23日(土)> 午後2時30分 第三寺島小学校前
 - 西部地域 <12月14日(土)> 午後2時30分 白旗橋交差点防犯団地前集合
- *参加費無料。大人対象事業。定員先着順20名位。一部コースだけの参加も可。各コース、まち歩き約2時間半。その後、約1時間の座談会。
- 成果発表 3月頃「寺島まち歩きレポート」を作成し発表会をおこなう予定。
- ◎主催 NPO法人向島学会 <http://www.mukojima.org/> ◎後援 墨田区教育委員会
◎問い合わせ 申込み先 090-2524-0052 (佐田)



「み(道・未知)と遭遇」

鐘ヶ淵地域は墨田区内で一番古い歴史を持つまちの一つです。その歴史を探るため、地域内を走る4本の道(古代の官道・鎌倉街道下の道・豊橋通り・鐘ヶ淵通り)を、昨年12月に子供達と探検しました。この報告書とともに、江戸文化の柱となった隅田川や鐘ヶ淵についてのお話を伺い、現在に生きるまちの姿について学んでいただきたいと思います。輝かしい地域の歴史を学び、明るい未来のまちについて考えてみませんか。

日時 2月9日(土曜日) 会場での地図

受付 午後1時30分～ 開演 午後2時

・2000年の歴史を学ぶ「まち歩き」報告

・講演「江戸の文化と隅田川」

講師：鈴木康夫先生 (日本大学名誉教授、東京大学東洋学研究所客員)

・鐘ヶ淵地域の見出し部(地元の皆さん)

開演 午後5時

会場 隅田小学校体育館 (墨田区墨田4丁目6番5号)

参加費 500円(未成年無料)

主催：NPO法人 向島学会 後援：墨田区教育委員会
協力：隅田小学校PTA、向島小学校PTA、鐘ヶ淵小学校PTA、墨田区出身青少年育成委員会、墨田区地区団体クラブ、高野 つり屋、カッタ再興会、すみだ観光ガイドの会、すみだ Komachi

問合せ先：090-2524-0052 (担当：佐田)

2

アートプロジェクトの連続開催を支援するプラットフォームの役割

向島博覧会のようなアートプロジェクトを毎年連続的に開催していくため、向島学会が母体となった実行委員会を設立して2004年を「向島イヤー」とした長期の地域芸術祭を開催。以降、各種文化助成を得て毎年地域芸術祭を開催してきた。

墨堤まち見世や39アートin向島は、途中から後方支援に周り、向島の地域に根ざしたアーティストらが自ら実行委員会を組織して、向島学会は多様な主体をつなぐプラットフォームの役割を果たしている。

向島学会がプラットフォームとなった地域芸術祭

時期(年)	地域芸術祭の名称	財源
2004年	向島イヤー	都市計画家協会等
2005-06	向島アートまち大学	AIGすみだコミュニティ
2007	向島芸術計画	AAF(アサヒアートF)
2007-08	向島アートまち大学	文化庁文化芸術事業
2009-13	墨堤まち見世	東京都&歴史文化財団
2010-19	39アートin向島	地元企業協賛+助成
2020-21	すみだ向島expo	チケット制+助成

向島スタディーズなどを通して、向島地域のまちづくり歴史に関する学術的な知見を重ね、学生らの研究成果のアーカイブス化も進めている。

3

空き家の調査・改修の相談対応からまち協や各種NPOとの連携まで

国のまちづくり計画策定担い手支援事業（2007年）などを通して、京島や一寺言問のまちづくり協議会活動や鳩の街商店街振興組合の空き店舗活用、空き家の改修の相談対応を支援してきた。最近では、NPO雨水市民の会と連携して雨水グリーンインフラプロジェクトを推進している。寺島・玉ノ井まちづくり協議会と連携して、寺島なすの復活活動を進めてきたほか、日本都市計画家協会と共催した「密集市街地再生シンポジウム」（2003年）を契機に全国路地のまち連絡協議会が発足。2012年には向島でも「全国路地サミット」を開催してきたことも特筆される。

大規模水害対応

一寺言問を防災の町にする会
<http://hitokotokai.com/>

寺島なすの復活

寺島・玉ノ井まちづくり協議会



空き家の再生

すみだ向島 expo
<https://sumidaexpo.com/>

雨水グリーンインフラ

NPO法人 雨水市民の会
<https://www.skywater.jp/>

すみだNPO 協議会

<https://sumida-npouyogikai.jimdofree.com>

4

日本の防災&アートのまちづくりを海外に情報発信・市民文化交流

こうした一連のまちづくり活動は、国際交流基金の支援を得るなどして長年継続してきた向島オッテンゼン地区交流委員会と連携し、毎年のようにハンブルクのオッテンゼン市民との相互訪問・交流を積み重ね、向島のまちづくり活動を英語やドイツ語のポスターにしたり、共同のワークショップに参加して積極的に情報発信し続けている。

ハンブルクで発表展示した向島関係のポスター（一部）

Introduction - 25 years of Mukojima -

History of Mukojima
Mukojima is located in the center part of the Sumida Ward, east of Tokyo. It is a delta low-land formed by Sumida river and Arakawa river. In the 19th century, Sumida (Japanese) and lower houses were built in the lowland area. In the late 20th century, Ginza Gaiji started to build the area in Sumida. That's a mixture of Ginza and Sumida (Japanese) residential and developed the special culture. In the early 2000s, along with modern industrialization, Mukojima became an area of dense and diverse housing and buildings.

Problems of Mukojima
Mukojima has many old wooden buildings (wooden houses), and narrow streets go through them. In case of earthquake, buildings may collapse and fire may spread, major reasons are the fact.
So far countermeasures for disaster were mainly make building fire resistant and widen the streets and alleys. There were help by the local government in Mukojima. However, it was only on fire, attractive alley spaces, which is a feature of Mukojima, would be lost.

Recent Mukojima
Tokyo Storm has brought earthquake with the Sumida Ward. It has accelerated the realization of the area, by protecting houses of aging, young residents and renovation of old buildings.

Activities of Disaster Prevention in Mukojima

Physical and Social Measures for Disaster Prevention and Evacuation
The Widening the Road for the Fire Prevention and Evacuation
Mukojima has many old wooden buildings (wooden houses), and narrow streets go through them. In case of earthquake, buildings may collapse and fire may spread, major reasons are the fact.
So far countermeasures for disaster were mainly make building fire resistant and widen the streets and alleys. There were help by the local government in Mukojima. However, it was only on fire, attractive alley spaces, which is a feature of Mukojima, would be lost.

Residents Driven Community Development for the Next 100 years
"Community for the next 100 years" is a slogan in Mukojima. Residents in Mukojima work not only to improve their physical condition, but to raise the awareness for disaster prevention by good communication and diverse activities. There are various activities, including workshop for disaster prevention and exhibition of their vision. However most of the participants in such activities are residents. It is a task to have more young people involved.

Art on the Theme of Rainwater use of Mukojima

History of Art Project
History of project was developed, such as after participating workshop that was held in Mukojima. The project was aimed at the following points: (1) to raise the awareness of the importance of rainwater use, (2) to raise the awareness of the importance of rainwater use, (3) to raise the awareness of the importance of rainwater use.

The Disaster drill while having fun "IZA! KAERU CARAVAN!"

What's "Iza! Kaeru-Caravan!"?
It was a series of the combined local disaster drill and the exchange festival created by artist Yoko Kato. The purpose was to raise young people's awareness for disaster prevention (Iza!).
The program started in 2005 and now is spreading to many areas. It is the strongest activity in the local character.

Kaeru-Caravan in Mukojima
Cultivating the leaders in next generation by the original program
In Mukojima, the raising of the leaders of disaster prevention activities has been a problem. In the summer of 2005, KAERU CARAVAN in 2005, were able to increase the children's participation. Numbers of participants have been increasing, and they have become to probably plan and manage the program to make them to be their original.